

当麻町まち・ひと・しごと創生総合戦略(「人口ビジョン」「総合戦略」)の概要版

人口ビジョン

中長期展望(2060年まで)

【現状】

- 2010年人口7,087人から2060年2,706人まで減少(社人研推計)
- 合計特殊出生率1.42で、近隣市町や全道平均より高く、全国平均並みである
- 出生数よりも死亡数が年間61人多く、自然減の状態が続いている。
- 社会減が年間67人で、転出超過が続いている

【2060年人口の将来展望】

- 合計特殊出生率を0.65上昇させ2.07にすることにより、自然減に対応する
- 段階的に転入者数=転出者数として、2060年には社会増減をゼロにする

- 2060年の人口を社人研推計の2,706人から3,827人まで増加させる

2060年の将来展望の実現のために総合戦略による施策を展開

総合戦略(平成27年度～31年度の5か年)

理念

食育・木育・花育による「心育」と心通わせ「つながり」の力で築く持続可能な地域の創造

地域資源をいかした安全・安心で魅力あるまち「とうま」

基本目標と基本的方向

住みやすい環境や子育て環境をいかし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

【目標年次:H31年度】

- 合計特殊出生率の向上1.60
- 新たな交流人口の拡大 10,000人/年

地域資源をいかした産業活性化による雇用の創出を図る。

【目標年次:H31年度】

- 施設や店舗の立地等による新たな雇用者の増加 20人
- 店舗の新築・改築 各5件

地域産業の好循環による「とうまの魅力」をいかした新しいひとの流れを創造する。

【目標年次:H31年度】

- 移住・定住世帯の増加 50件
- ふるさと納税額増加5千万円

特色のある地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

【目標年次:H31年度】

- 観光入込客数の増加 3%増
- 東日本大震の被災地との交流機会の継続 年間1回開催
- スクールバスや福祉バス、タクシーの運行維持

主な施策

- 結婚・出産・子育て支援の充実
 - ⇒婚活イベント開催等の出会いの場の創出支援
 - ⇒出産・子育てに関わる相談窓口の充実
 - ⇒高齢者等による放課後保育、子育て学習機会の拡充 など
- 教育環境をいかした交流人口の拡大
 - ⇒食育・木育・花育施設の充実による町内外から交流人口を拡大 など

- 創業支援と販路開拓
 - ⇒ICT技術を活用した情報発信番組によるとうまの魅力発信(ローカル番組等)など
- 地域再生事業等による雇用の創出
 - ⇒産業振興や教育における若者・高齢者・障がい者のまちづくり活動への参加など
- 就業機会の拡大に関わる取り組みの推進
 - ⇒農林業体験の実施(農林業の継承)など
- 地域資源をいかしたまちづくり

- 移住・定住促進
 - ⇒町産木材を使用した住環境の創出
 - ⇒移住促進住宅の整備
 - ⇒優良な宅地の分譲 など
- 3育をとうまブランドとして定着させる取組
 - ⇒子どもへの教育によるUターンの促進
 - ⇒情報発信活動 など
- まちづくり寄付の推進

- ICTを活用したとうまの魅力発信
- 上川中部定住自立圏構想による連携
 - ⇒広域観光ルートとしての位置づけの検討
 - ⇒定住自立圏としての医療連携
- 防災力向上を目的とする交流事業の推進
- 地域公共交通の維持による外出機会の確保
 - ⇒地域公共交通の確保維持による移動の支援

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆交流施設の整備による雇用者数の増加:毎年増加(5年間で最低15名)
- ◆木育推進拠点施設の交流人口:8,000人/年(5カ年分の累計)
- ◆イベントによる交流人口の増加:600人
- ◆食育・木育・花育イベント開催の満足度:70%

- ◆魅力発信TV番組の視聴可能世帯数の増加:200,000世帯増加
- ◆交流施設の整備等による雇用者数の増加:毎年増加(5年間で最低15名)
- ◆店舗の新築・改築:各5件

- ◆定住・移住の相談件数:10件増加
- ◆地域の木材を活用した住宅整備:10件
- ◆PR活動の実施:10回/年
- ◆ふるさと納税額増加:1,000万円増加

- ◆観光客の入込客数:1,000人増加(施設別の利用者数増加)
- ◆連携事業の継続
- ◆防災交流事業参加者数:20人
- ◆高齢者、障がい者へのタクシーチケットの配布、福祉バスの運行を継続